

平成26年度 第4回吉川区地域協議会次第

日時：平成26年7月18日（金）
午後7時00分から
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 吉川区地域活動支援事業について

(2) その他

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

・視察研修の実施の有無

・次回日程： 月 日() 時 分

7 閉 会

地区別懇談会の意見等について

1 避難所等の見直しについて

地区名	①指定箇所についての意見	②開設・運営について意見	③その他避難所についての意見	回答内容
5/29 源地区	地域の総意：設置場所（位置的）には理解する。 ①指定の施設にトイレ・水飲み場がないので早急に整備して欲しい。（隣接する解体対象物件に設備されている）	地域の総意：理解する ②原発災害の対応として、ヨウ素剤の確保状況はどうか。	③隣接する施設が解体対象であり、早急の対策を望む。 ④厳冬期における避難所入口までの常時除雪が必要。	①③生涯学習センターの校舎棟解体時までの整備は必要だが、その時期は現在未定。 ②区内の安全な場所に3千丸を市が備蓄しており、安心して欲しい。 ④全市的な課題であり整理したい。
6/3 東田中地区	地域の総意：設置場所には理解する。 ①民間施設の指定であり、現在の使用者との協議状況は。	地域の総意：理解する ②中越地震では水道の復旧に手間取り給水車を地域に配置した。ライフラインや食糧の確保などどう整理するのか。 ③指定緊急避難場所は一時的な避難所であっても、電気がつかない、トイレも少人数しか使用できない、飲料水のない状況であるので環境整備をお願いしたい。 ④民間施設を緊急避難場所とするのは本来おかしく、公的施設の耐震化を推進すべきであり、一時的指定というのであれば理解する。 ・避難場所には生産組合の収穫物や機械があり、永久的な避難場所としては不適である。 ・耐震施設をこの地域に作る計画を示すべきで、行政の責任ある将来的な考えを聞きたい。	⑤公民館分館が避難所でなくなるが、分館は耐震施設でもないし、施設の在り方はどうなるのか、分館の見直し状況はどうか。	①所有者には了解を得た。使用者は地域の農業法人であり、地域との意見交換を踏まえ早急に協議を行う予定。 ②備蓄等は、国では3日分の備蓄をPRしており、地域のお力をお借りしての市民の安全・安心の確保に協力願いたい。 ③短期を想定する指定緊急避難所は、食糧品等の備蓄も含め市の自主的防災組織への市助成を活用する等、地域で対応願いたい。 ④何時起きるか分からない災害に対応するため、現時点で何処が良いのか検討した結果であり、今回の提案に代わる対案があれば示して欲しい。 ・分館と避難場所については分けて考えてほしい。分館は現在、現状維持との考え方であり、耐震補強するという方針はあるが、何時行うか明言出来る状況にない。 ・全ての災害に対応する避難場所は、この地域では提案の施設以外にない。 ⑤分館の見直しは検討中であり、現在のところ現状維持の段階である。

地区名	①指定箇所についての意見	②開設・運営について意見	③その他避難所についての意見	回答内容
6/4 泉谷地区	地域の総意：設置場所には理解する。 ①民間施設の指定であり、現在の使用者の明け渡しを考えているのか。	地域の総意：理解する	②避難する耐震施設の案となっているが、災害時に橋を渡って行くことになるが、橋の耐震は大丈夫か。 ③市では「ため池」耐震調査を行っており、第1避難所の報告を求められている。地震では「ため池」にセンサーがなく、情報が得にくい状況である。 ④東寺、平等寺の避難場所が後生寺集会場となっているが、町内会に確認しているのか。今まで泉谷地区一体で活動をしてきている。	①緊急避難場所は一時的な避難を想定していることから、施設の空きスペースを活用させていただく予定であり、業者の明け渡しは考えていない。 ②市内に500程の架橋があるが、現在、長寿命化計画により優先順位を定め落橋防止等の修繕を行っている。 ③町内会では大雨時に、ため池の水位監視等により災害の予知等を知らせる連絡網があるところもある。センサーの設置などについては、農村整備担当に情報提供する。 ④町内会長さんの意向は、いままでの生活圏を考えれば泉谷の避難所に避難したいとのことであり、地域の意向を尊重したい。
6/5 吉川地区	地域の総意：設置場所には理解する。 ①指定避難所が吉川小学校体育館だが、中越沖地震時は保健センターを避難所として活用した。条件的に保健センターの方がよいのではないのか。	地域の総意：理解する ②自主防災組織等活動育成事業の資機材整備補助金限度額が30万円となっているが、消火器の更新が対象となるのか。		①指定避難所の指定に際しては、発災時の避難者数を想定し収容可能な施設を指定したものである。しかし、中長期の避難に際しては、必要に応じて、保健センター等の活用も考えていきたい。 ②資機材の全てを消火器というのが適正かということもあり、詳細は相談して欲しい。
6/6 勝穂地区	地域の総意：設置場所には理解する。 ①赤沢ふれあいセンターは、大出口川の近くであるが、水害時の氾濫等は大丈夫か。どう判断したのか。	地域の総意：理解する ②泉町内会は自主防災組織を設置していないので、助成が受けられないのか。		①過去の実態から指定を考えたもの。なお、水害は被害発生まで一定の時間を要することから、万々が一危険と判断される場合には、他の避難場所へ誘導対応を行う。 ②ぜひ、この機会に組織を立ち上げてほしい。
6/5 竹直地区	地域の総意：設置場所には理解する。 ①この度、耐震構造の関係から避難所を変更することは理解した。 ・竹直町内会では、第一避難場所を竹直分館としていたが、見直しにより変更すべきと考えている。	地域の総意：理解する ②自主防災組織の資機材助成で、助成対象資機材のうち1点のみを助成対象としてよいか。		①町内会で決めた場所に一旦集まり、安否確認後に指定緊急避難場所への移動することも良い事と思う。 ②既に必要な資機材があり、不足するものを購入というのであれば良いが、他にも必要なものがあるのに多目的の使用するために購入することは課題があるので、地域住民の安全確保に資する資機材の調達をお願いしたい。詳細は後日相談して欲しい。

地区名	①指定箇所についての意見	②開設・運営について意見	③その他避難所についての意見	回答内容
6/10 旭地区	<p>地域の総意：設置場所には理解する。</p> <p>①避難所の選定にあたり、この地区は柏崎刈羽原発の30km圏内に入っているのか。</p> <p>③吉川区には津波の災害がないということであるが大丈夫か。</p> <p>④今般、町田町内に避難場所が提案されたが、前向きに考えたい。13日の常会で協議し結果を報告する。</p>	<p>地域の総意：理解する</p> <p>②ヨウ素剤は県の方から吉川区に配備されているのか。</p> <p>・災害備蓄品として避難所に置いておく必要はないか。</p>		<p>①吉川区の一部がUPZ(30km圏内)区域に含まれる。</p> <p>②市では安定ヨウ素剤を吉川区内の安全な場所に3千丸と子供用を確保・保管している。</p> <p>③海拔的は6.5mを有し、大潟区を超えることはない。唯一、考えられるのは河川遡上であるが、吉川では被害が無いと想定している。</p> <p>④指定緊急避難場所として町田集落開発センターの新設を提案したが、地域の意見を尊重したい。</p>
6/10 川谷地区	<p>地域の総意：設置場所には理解する。</p> <p>①地震時には川谷分館が利用できないことは承知した。</p> <p>※該当する施設はないが、地域の共助により対処する。</p>	<p>地域の総意：理解する</p> <p>②過去の災害時に孤立した経過もあり、NTT、有線、携帯が使えないと情報が入ってこない。</p> <p>・安全・安心の確保に向け衛星電話を各町内会長宅や避難場所への設置により連絡網の確保が出来るので、是非とも設置して欲しい。</p> <p>③道路が交通止めでは、市職員がこれない。停電して電話が使えない時、現実的にどう対応するのか。</p>	<p>④この地域は65歳以上の割合が高いが、何時どんな規模で災害が起きるかわからない。最低限地域で検討しなければならない事は何か。</p> <p>※当地域での県道は連続雨量が80mmや、時間30mm超え等で交通止めとなり、沢からの土砂流出により頻繁に通行不能となり、孤立する危険が強い。</p> <p>最初にこれらを解決することが必要でないか。</p>	<p>①地域で地震災害時に利用可能な施設はないか。なし</p> <p>②検討する。</p> <p>過去の孤立状態や、昨年も数度発生した大雨災害により、県道が交通止めとなることは承知している。</p> <p>③防災無線は停電時に電池で使用可能であり、市からの情報は伝えられる。数日(1・2日)なんとか地域で頑張っていたきたい。</p> <p>④高齢者が多いことは承知している。例えば、足の悪い人をどう避難させるか、特に冬場は厳しいと思うが、町内会で話し合いをして、こういう場合はこうする、約束ごとを作ってほしい。</p> <p>○昨年も土砂が道路に堆積したことも現地を確認している。</p> <p>県に対して土留め設置等の要請活動をしているが、中長期的な課題である。</p> <p>今、出来る対応は何かを考えているが、一番は命を守るための取組を進めたい。</p>

2 その他の質問・意見等について

地区名	吉川区主要事業の概要	吉川区主要事業の概要以外
5/29 源地区	なし	なし
6/3 東田中地区	道路改良、災害復旧、除雪、河川の堤の管理や敬老祝賀会の記念品について、質問・意見があった。	カーブミラー、埋設農業処理、水道石綿管について、質問意見があった。
6/4 泉谷地区	地域協力隊、保育園の委託、集落排水の管理について、質問・意見があった。	分館の整備、合併特別交付金、広報上越、県道側溝蓋について、質問・意見があった。
6/5 吉川地区	なし	なし
6/6 勝穂地区	なし	大出口川の川底清掃等について、質問・意見があった。
6/5 竹直地区	人口減少対策、敬老会の記念品について、質問・意見があった。	旧竹直小グラウンド周辺の環境整備について意見があった。
6/10 旭地区	なし	なし
6/10 川谷地区	なし	石谷村中線の工事期間、中山間地等直接支払交付金などについて、質問・意見があった。

第3回吉川区地域協議会
 平成26年7月18日
 協議資料No.1

平成26年度 吉川区地域活動支援事業 追加提案事業一覧

吉川区への配分額：5,800千円【既決額4,830千円：追加可能額970千円】

No	事業の名称	団体等の名称	補助希望額 (単位:千円)	事業内容
※	【既決内容】 河沢歴史文化の里づくり事業 ほか8件	河沢町内会 ほか	4,830	
追1	「大乘寺遺産」の伝承・維持事業	大乘寺町内会	516	「大乘寺」の文化財的意義の検証と町内会住民の健康と安全、合わせて町内会の団結の証として未来永劫守り続けていくため、弘法大師像の修理、大乘寺跡に建つ大師堂の前柱の交換を行う。
追2	生きがい広場「ゲートボール場」設置事業	旭地域づくり会議	189	旧旭小中学校グラウンドの一部を整備し、2面のゲートボール場を設置し、旭地区全体の高齢者相互の親睦と健康増進を図る。また関係団体と交流試合等を実施する。
追3	吉川区駅伝大会「第50回記念 ゲストランナーと走ろう事業」	吉川区体育協会	338	吉川区駅伝大会の「第50回記念事業」として、ゲストランナーを招へいし、競技に参加してもらうとともに、競技終了後、参加者を対象に「ランニング教室」を開催する。
	小計		5,873	(吉川区への配分額との差額: -73 千円)

採 点 一 覧 表 (追加募集・本審査)

1. 採点結果一覧

(単位：千円)

NO	事業名	提案者名	事業費	申請額	市補助額	各項目の計			特記事項	結果
						(25)	補助率	優先採択方針との整合性		
追1	「大乘寺遺産」の伝承・維持事業	大乘寺町内会	516	516	464	20	9/10	○：16 ×：00		採択
追2	生きがい広場「ゲートボール場」設置事業	旭地域づくり会議	189	189	170	20	9/10	○：16 ×：00		採択
追3	吉川区駅伝大会「第50回記念 ゲストランナーと走ろう事業」	吉川区体育協会	338	338	304	20	9/10	○：16 ×：00		採択
合 計			1,043	1,043	938					

970 - 938 = 32 千円の残額